

目標達成計画

作成日: 平成 25年 11月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組み 今後ますます、認知症の方々が増えてきます。その時認知症対応型共同生活であるグループホームの役割は、施設内に留まらず、地域での認知症の基幹施設的な位置が求められてきます。その為にも職員のスキルアップの為、人間性・知識・技術・を磨く事が必須	総ての職員が、自己研鑽に取り組み、各自の目標を立てる。また、資格をとる。 介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等	各自が立てた目標の為に、研修会 協議会 講演 勉強会に積極的に参加する。 施設は、参加できるように、最大限協力 援助する。	12ヶ月
2	27	個々の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かす。	毎日の業務日誌 介護記録等記録の内容記録の向上を計る。	パソコンを全員が使用出来るようにする。毎日の業務記録をパソコンに入力する事が出来る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。